

「（仮称）大池小中一貫校」で おこなう教育

施設連携型 小中一貫校



9年間の教育効果を高めるため
大池小学校・大池中学校を連携型小中一貫校
としてスタートします

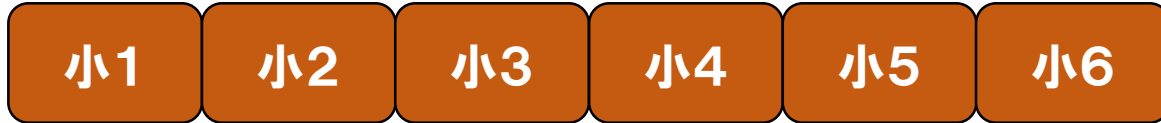


① 中1での段差をより小さく

どうして小中一貫校にするの？

新しい学校の特徴

A小



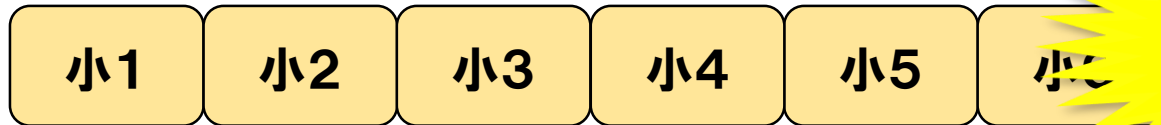
B小



中学校



C小



中1
ギャップ

中学校に
進学すると

- ①教科担任制になる
- ②定期テストが始まる
- ③部活動が始まる
- ④学校文化の違い



中1でリセットしない学校をめざす

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

低学年で確実に学力を定着
算数・国語の習熟度別学習



低学年から確実に、基礎学力をつける

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

5年

6年

中1

高学年からの部活動・生徒会参加や
教科担任制で経験や学びを広げる



伸び盛りの3年間を活かすカリキュラム



中2

中3

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

キャリア教育と連動した進路指導と
自立・自律学習の総まとめ



自立・自律学習の力をつけ、
卒業時の進路選択の可能性を広げる

9年間かけて変化する時代を
「生き抜く力」を育てる

② 御幸森小・中川小・舍利寺小
・ **大池中**の良さをつなぐ

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

中川小



本物体験



御幸森小

ユネスコスクール

国際クラブ



舍利寺小

大池中



英語検定

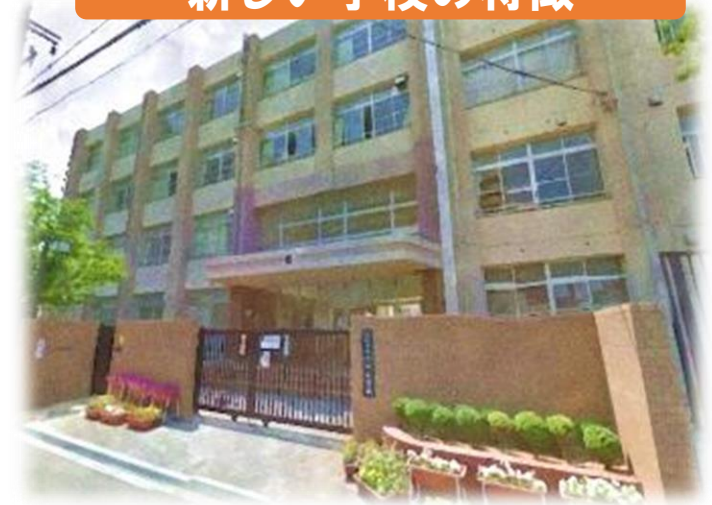
9年間で「多様な時代を生き抜く力」を
育てる教育

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

③ チーム学校

- 高学年からの教科担任制



小中の教職員・専門職・区内企業・
団体・地域による「チーム学校」

(例)

中1生の数学の授業を
小学校教員がフォロー

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

個別
フォロー

こども
理解

教え方の
共有

中学校の教員

小学校の教員

学習の「取りこぼし」をフォローできる

(例)

中1生の体育の授業を
小学校教員がフォロー

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

継続的な
体力向上

教え方の
共有

こども
理解

中学校の教員

小学校の教員

9年間で継続的に運動能力を向上できる

③ チーム学校

- ソーシャルワーカーや臨床心理士など専門家
- 世界につながる職業人
- 活躍する先輩や地域の方



新しい課題に対応できる「チーム学校」

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

③ チーム学校

新聞記者



大学研究チーム



男女共生教育

多様な価値観に出会い、視野を広げる

(例) 地域の方々とともに
おこなう防災訓練
(中川地域)



施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

(例) 地域の方が小学校の
「昔の遊び」の講師に
(御幸森地域)



(例) 見守り隊のみなさんへの
ありがとう集会 (舍利寺地域)

地域を大事に思い、つながり続ける

「チーム学校」に企業や専門家が加わる

施設連携型小中一貫校

新しい学校の特徴

英語教育

実験や
体験学習

国際理解
教育

部活動支援

キャリア
教育

専門家による支援



世界と社会に開かれた新しい学校

「ユネスコスクール」の認定に向けて

施設連携型小中一貫校

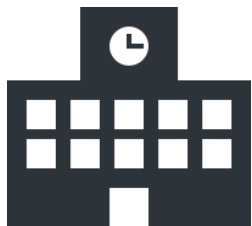
世界につながる学校

R2

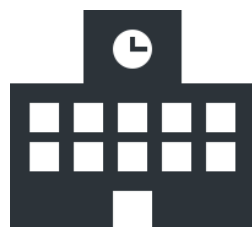
R3

R4

御幸森小



中川小



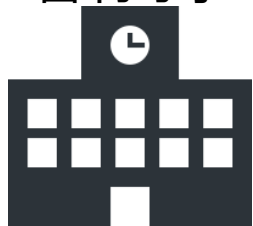
大池中



大池小



舍利寺小



大池小



大池小中一貫



申し入れ・申請手続き

ユネスコ事務局



課題：ユネスコスクールの認定に向けた御幸森小の取り組みの継続部分に加えて、新しい学校での教育活動をデザインする必要性

(仮称) 大池小中一貫校



未来へ

